

公益社団法人民間総合調停センター 御中

和解あっせん・仲裁申立書

申立年月日：平成 年 月 日

<p>申立人</p>	<p>住所 〒***-**** 大阪府吹田市〇丁目〇番〇号</p> <p>(電話 **-****-**** )</p> <p>(会社名・代表者名) <b>大阪 花子</b> 印</p> <p>(生年月日) 昭和**年**月**日 (**歳)</p>
<p>申立人</p>	<p>住所 〒</p> <p>(電話 )</p> <p>(会社名・代表者名)</p> <p>(生年月日) 年 月 日 ( 歳)</p>
<p>代理人</p>	<p>住所 〒</p> <p>(電話 )</p> <p>代理人 印</p>
<p>相手方</p>	<p>住所 〒***-**** 大阪府吹田市〇丁目〇番〇号</p> <p>(電話 **-****-**** )</p> <p>(会社名・代表者名) <b>大阪 隣人</b> 印</p> <p>(生年月日) 昭和**年**月**日 (**歳)</p>
<p>相手方</p>	<p>住所 〒</p> <p>(電話 )</p> <p>(会社名・代表者名)</p> <p>(生年月日) 年 月 日 ( 歳)</p>

※ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。

※本申立書は相手方に送付します。

<b>第1. 申立の趣旨</b> （相手方に求める結論を記載して下さい。）	
1	別紙物件目録記載1の土地と同目録記載2の土地との境界は、別紙図面ア点とイ点を結ぶ直線であることを確認する
2	別紙物件目録記載1の土地のうち、別紙図面のアイウエアを順次直線で結んだ部分の所有権が申立人にあることを確認する
との 和解あっせん・仲裁判断（どちらかを○で囲んでください）を貴センター規則に基づいて求める。	
<b>第2. 申立の理由</b> （紛争の概要と申立を根拠づける理由を記載して下さい。）	
1	申立人は別紙物件目録記載1の土地（以下「本件土地1」という）を所有し、相手方は同目録記載2の土地（以下「本件土地2」という）を所有している。
2	本件土地1と本件土地2は隣接しており、その境界は別紙図面ア点とイ点を結ぶ直線である。このことは、同直線上に境界標としてのコンクリート杭が存在することから明らかである。
3	しかし、相手方は以前から、別紙図面ウ点とエ点を結ぶ直線が境界であると主張しており、別紙図面のアイウエアを順次直線で結んだ部分に自転車やゴミなどを置くことがしばしばあった。
4	申立人は、相手方との話し合いにより境界について合意した上で、相互に越境することのないよう境界の手前の部分にフェンスを設置することを計画している。
5	よって、申立人は相手方に対し、申立ての趣旨記載の請求をする。
<b>第3. 和解あっせん人・仲裁人として選任を希望する者の氏名等</b> （希望する場合のみ、3名以内でご記入ください）	
・氏名（	） 資格・所属団体等（弁護士・大阪弁護士会）
・氏名（	） 資格・所属団体等（
・氏名（	） 資格・所属団体等（

※ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。

※本申立書は相手方に送付します。